



- ☆ 新年のごあいさつ
- ★ 全国大会『鹿児島大会』と支部研修旅行
- ☆ つきいちアーキ・セミナー
「地震災害時における避難所等の応急危険度判定」
についての説明・意見交換会+訓練
- ★ 支部忘年会

『明日へ』



特別記念作品（昭和62年）
峯田 義郎ノ作
市役所第二庁舎前
令和6年12月撮影

長野市制90周年のモニュメントで、高さ4m、幅4.5mの大きな作品です。長方形の石を中心にして箱形の不等形な2個の造形が語り合うかのように浮いています。右の箱形の上に若い男女が腕を広げた姿は、長野市の躍進を象徴し、周りに配置した鳩は平和を表しています。箱形の造形は力感あふれ、乙女と鳩は限りない長野市の発展を暗示し、快いメロディーが聞こえるようです。

【長野市ホームページより抜粋】

～お知らせ～

野外彫刻の付近に『ピコッとリンク』という
二次元コードの表示板が設置されました。



◆ 野外彫刻のお問い合わせ ◆
長野市観光文化部文化芸術課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL 026-224-7504/FAX 026-224-7351

支部ホームページにて 各コンテンツ好評掲載中

みなさんからの寄稿・投稿

- 全国大会「鹿児島大会」支部研修旅行・道中記
完全版と写真ギャラリー
 - シリーズ『街道』第41回
(水口宿～石部宿)
→ 2か月間の期間限定 読み切りです
 - フォトギャラリーコンテンツが増えています
関邦則さん『Photo Gallery by SEKI』
高山靖さん『POROROKKAの風景写真』
つちおと編集部『つちおと表紙写真集』
 - 特別賛助会員 — News Release —
各社イベントや講習会・勉強会、
新商品のご紹介を今後も随時更新します
- ☆ 会員のみなさんからの投稿をお待ちしています
詳しくは事務局までお問合せください

会員専用ページ

只今準備中です



- ・ 「つちおと」などの各号バックナンバー
- ・ 会員のための「情報ストック集」
- ・ 会員名簿 ・ 会員の動き（入退会情報）

行政庁からのお知らせ

(((ホームページにて)))
随時更新中

長野県 2024.12.18

- ・ 令和6年度被災建築物応急危険度判定
土養生講習会（新規登録希望者向け）
開催について



長野地域職業訓練協会

長野地域職業訓練センター 2024.12.17

- ・ 二級建築士受験準備講座の開催について



今後の予定

月日	行事名	場所
1月15日(水)	三役会	油や
1月22日(水)	新春交流広場	ホテル信濃路
1月22日(水)	ながの支部新年会	ホテル信濃路
1月31日(金)	須高三会合同新年会	湯っ蔵んど
2月7日(金)	つきいちアーキ・セミナー	佐藤園芸
3月8日(土)	ながのワインを愉しむ会	西鶴賀キッチン&スペース
3月14日(金)	ボウリング大会	ヤングファラオ



新年のごあいさつ

長野県長野建設事務所 建築課長 塚本 哲

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人長野県建築士会ながの支部の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から県の建築住宅行政に対しご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年の元旦に発生しました令和6年能登半島地震は、石川県能登地方を中心に極めて甚大な被害をもたらしました。

本県におきましては、この地震災害で顕在化した様々な課題を教訓として、地震防災対策の充実・強化を図るため、令和6年度から令和9年度を「集中取組期間」とする「長野県地震防災対策強化アクションプラン」を昨年9月に策定しました。

“耐震化の促進、避難所環境の改善等により、「地震災害死ゼロ」に挑戦”を基本目標として、耐震化補助制度の利活用促進と耐震改修の重要性の集中的発信、地震保険の加入啓発等の取組を進めてまいります。

また、記録的な猛暑や大雨といった異常気象が頻発しており、地球温暖化に起因する気候変動の影響が懸念されるなか、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、住宅・建築物の省エネ性能の底上げや、省エネ化に伴い重量化している建築物に対する構造安全性の確保などに対応するため、段階的に施行されてまいりました建築基準法及び建築物省エネ法の改正の全面施行が、いよいよ本年4月に迫ってまいりました。

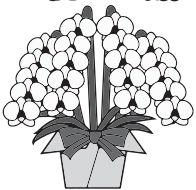
全ての新築における省エネ基準適合義務化、木造建築物の壁量計算等の見直し、さらに、建築確認・検査の対象範囲やその特例による審査省略範囲の見直しなど、その改正内容は、設計者と審査機関の双方に大きな影響が予想されることです。

国及び県独自の施策により、サポート体制の構築を進めてきたところですが、当県では、貴会に、その役割の一端を担っていただいております。準備不足による混乱を招くことなく、改正法による手続きが円滑に行われますよう、連携・情報共有を図ってまいります。

安全・安心で快適な地域づくりに向けて、地域の建築士の皆様には重要な役割を担っていただいております。今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴支部の益々のご発展と、皆様にとりまして本年がより佳き年となりますようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

お祝いや贈り物に花ギフトご注文承ります。



胡蝶蘭などご予算に応じて、ご用意いたします。また、配達も承っておりますので、ご用命ください。
(※小布施町内配達無料)

フローラルガーデンおぶせ

〒381-0209 上高井郡小布施町大字中松 506-1
TEL:026-247-5487 FAX:026-247-5488



創業元治元年
小布施
東屋風味堂

信州小布施
栗ごはん

災害に備えよう!
いざと言う時に安心!
非常食になる
おいしい栗ごはん

写真はイメージです。商品説明コチラ

QRコード

本店 上高井郡小布施町小布施414 TEL 026-247-3090
軽井沢店 北佐久郡軽井沢町軽井沢606番地3小坂プラザ1階 TEL 0267-46-8310
善光寺大門店 長野市大門町79-1 TEL 026-217-8360



新年のごあいさつ

長野市長 荻原 健司

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃は市政に対し御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、令和6年能登半島地震をはじめ、全国各地で豪雨などの自然災害が発生し、また、長期化する物価の高騰などにより、市民生活や経済活動が大きく影響を受けた一年でした。

そのような中、本市では、令和元年東日本台風災害からの復興応援事業の開催や、合併から20周年を記念したイベントなどを通して、市民の皆様とともに、これまでの歩みを振り返りました。

また、教育支援センター「SaSaLAND」や、ながのこども館「ながノビ!」、豊野防災交流センター、茶臼山スケートパークなど、新たな居場所や交流の場を整備、開設しました。

本年は、これまでの取組の定着を図るとともに、更なる変革、挑戦に向けて、様々な施策・事業に取り組んでまいります。

市内経済の活性化への取組としては、企業立地を促進するとともに、地域経済を支える中小企業を支援し、雇用確保や所得向上を目指してまいります。

また、人口減少社会を見据えた公共交通の維持に向けた取組を進めるとともに、市民の皆様との協働による、時代に即したまちづくりの仕組みを引き続き検討してまいります。

このほか、子どもから高齢者まで、どの年代でも健康で生き生きとした生活を送るための各種施策にも取り組んでまいります。さらに、「みらいハッ!ケン」プロジェクトなどの子どもの体験や学びを応援する取組の一層の充実や、スポーツを軸としたまちづくりを推進するための新たな取組にもチャレンジしてまいります。

本市が未来に向かって飛躍し、皆様一人一人が希望を持ち、さらに暮らしやすいまち、魅力あるまちとなるよう、市政を前進させてまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年の皆様の御多幸と御健康を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



建築専用3次元CAD/BIMシステムの販売・サポート。
建築設計・施工・維持管理における新たな仕組み“BIM”を
それぞれのお客様に合った最適な形でご提案致します。



OA機器・測量製図機器・コンピュータ機器

株式会社 **イトウ**

<http://www.itoh.co.jp/>

最新の情報と技術をお客様とともに創造し、最適なソリューションをご提案致します。

〒381-0024 長野県長野市南長池498-1
TEL:026-221-4101 FAX:026-221-5313



新春のごあいさつ

長野市建設部 建築指導課長 山田 大

明けましておめでとうございます。

新春を迎え、公益社団法人長野県建築士会ながの支部の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから本市の建築行政に対し、ご理解、ご協力を賜っておりますことに心より感謝を申し上げます。

さて、昨年は元日に能登半島地震が発生し、9月には復興途中の被災地を豪雨が襲うなど、自然災害の激甚化・頻発化が目に見える形で進んでまいりました。

都市のインフラである建築分野においても、今後さらに高まる災害リスクに向き合い、将来予測される被害を回避・軽減するための対策が求められています。

本市では、能登半島地震により多くの木造住宅が倒壊する甚大な被害が発生したことを受け、緊急対策として旧耐震基準で建てられた木造住宅の住宅耐震改修事業補助金の上限額を150万円に増額し、無料耐震診断と住宅耐震改修事業補助の件数を増やして、集中的に住宅の耐震化に取り組んでおります。

「長野市耐震改修促進計画」の計画期間が令和7年度までであることから、住宅・建築物の耐震化をより一層促進してまいります。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、建築物における木材利用の促進や既存ストックの長寿命化に関する対策が順次実施されているところですが、いよいよ4月1日には、全ての建築物への省エネ基準適合義務化や確認審査の省略制度（4号特例）の縮小、壁量基準等の見直しなど、改正建築物省エネ法・建築基準法の全面施行を迎えることとなります。

手続きの見直しや建物の重量化によるコストアップなど、市場に与える影響も大きく、設計実務が大きく変わる改正となりますので、十分なお準備をお願いいたします。

この他、倒壊の恐れのあるブロック塀の除却、アスベスト飛散防止、狭あい道路整備、空き家等の既存建築物対策につきましても引き続き重点的に取り組んでまいります。

今後とも災害に強い、安全で安心なまちづくりに取り組んでまいりますので、会員の皆様には引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴支部の益々のご発展と本年が会員の皆様にとりまして良い年となりますよう、心からお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

本年も
宜しくお願ひ
申し上げます

2025 /

謹賀新年

企画・印刷 NPS 有限会社 長野プリントサービス

〒380-0836 長野市南県町1067-13 ☎(026)224-8469 FAX(026)224-8648
E-mail nps@janis.or.jp

二〇二五年元旦

ながの支部ホームページの バナー広告を募集しています

このところ支部ホームページが充実してきました。
アクセス件数も安定し、行政庁や特別賛助会員さんからの情報拡散にも使っていただいております。
支部活動が今後さらに活発になるために、**バナー広告を募集**しております。**費用は年間1万円(税込)**で4月更新(途中入会は初年度月割り)になります。広告をご希望・ご協力いただける方がお近くにいらっしゃいましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。



2025年 新年の挨拶

支部長 久米 えみ

新年明けましておめでとうございます。日頃より当支部の活動に対しご支援を賜りまして誠に有り難うございます。令和6年は元日に発生しました能登半島地震で年明け早々から県からの応急危険度判定要請があり、多くの会員が迅速な対応と積極的参加をいただいたことにつきましては、心より感謝申し上げます、ひとえに昨年からの防災委員会の訓練の賜物だと思います。そしてこの経験から応急危険度判定のフローや、管内7市町村との連携についての「被災建築物応急危険度判定に関する協定」の内容の見直しにつきましても昨年暮れまでに迅速に終了いたしました。今年には能登半島での具体的な状況を反映させて判定士の連絡ツールとしての「オクレンジャー」の使い方なども含めて定期的な訓練講習会や意見交換を行政と共に実施していきたいと計画しています。

今年度は、支部基本方針「地域に根差した建築士会」というテーマを掲げており達成するためにもまずは会員の皆さまとの益々強固な繋がりとお結束を強めることが、この方針の鍵になると考えます。そしてボーイスカウトのモットーでもある、「備えよ常に (Be Prepared)」という姿勢で、建築士会活動も地震に備え、建築業界のさまざまな課題に対して備えるという姿勢で、まずは2025年の建築基準法改正についての「サポートセンター」の開設準備が進んでおります。また業界の労働力不足・高齢化などの深刻な課題が山積みな時代に、会社の垣根を超えた会員同士の会話の場を増やしていくことや、率先して地域の課題解決に取り組む事で、地域の中での建築士の地位向上を実現し、若者たちに建築士という職業の魅力につながればと活動しております。昨年秋には長野市櫻ヶ岡中学からの「防災の家」というテーマの出前授業の依頼を受けて、ながの支部青年・女性建築士委員会が担当いたしました。講師を務める会員の中には、19号台風で実際に被災した会員や、地震災害での応急危険度判定経験を持つ会員もいたりする中、子どもたちに臨場感ある情報を届けることと合わせて、住まいの防災ということが具体的にどういうことを考えることなのかを子供達に伝えることに繋がりました。(櫻ヶ岡中学校「防災の家」出前授業3年生)

会員皆様への情報提供(会報誌つちおと)は今年300号という節目を迎えます。このつちおと記念誌制作に昨年より特別委員会で行っております。時代を見据えて進めてきた紙面からデジタル化は着実に進んでおり、今後はホームページを活用することで、業務の効率化と役員の負担軽減を目指しています。今後会員間での情報共有や意見交換などの場の仕組み(会員専用ページ)を公開し、皆様が積極的にオンラインでも参加しやすい形を整えてまいります。これからも会員の皆様の役にたち新たな流れの中でのサポート体制を強化してまいります。皆様、何卒より一層のご支援よろしく願いいたします。

本年が会員の皆様にとって実り大きな年となりますようお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

事務局だより

◇ 会費納入について

11月5日の口座引落にて会費を納入いただきました会員さま、ご協力ありがとうございました。

また、まだ納入いただけていない方は、年度末も近づいてきましたので、早めに納入いただきますようお願いいたします。

全国大会「鹿児島大会」 支部研修旅行・道中記

しょういち的ところ

建築士会全国大会は令和元年（2021）の広島大会はオンライン開催となり、秋田・静岡とバスでの研修旅行でしたが、今年は新幹線・電車・モノレール・飛行機・バスと乗り継いで鹿児島をめざします。

縄文土器に魅せられて、土器の文様分析から建築設計に足を踏み入れた経緯から、僕は「縄文」用語に過度に反応します。最近、日本人のDNAの研究から、とりわけ縄文人の要素が多いのが東北と九州南部であることが判ってきた。何故か美人が多いといわれる地域と合致する。船を介した文化も根付いています。筆者は弥生系要素が多いので、この研究成果から外見の共通点が見つからず残念。

そんな縄文人のDNA値の高い南九州にて、もえよ！建築維新たぎる地で築くみらい「鹿児島大会」支部研修旅行が令和6年10月24日（木）～26日（土）に開催されました。

旅の一番の楽しみは仲間と歓談しながらの飲食や買い物、街歩き探訪ではないでしょうか。

街をめぐるとき（徘徊ではありません）は五感を働かせますが、事前にそこで暮らす人々、人情・地理や歴史を知るべく時間軸を加えて訪れると感動は倍増します。

鹿児島（薩摩）といえば桜島・薩摩芋・さつま揚げ・黒酢・黒豚・薩摩焼・島津家・郷中教育・篤姫・西郷隆盛・明治維新・東郷平八郎がよく知られています。

俳優の榎本孝明・沢村一樹・稲森いずみ・桜庭ななみ・上白石姉妹、歌手の長瀬剛・SAKURA（宮脇咲良）、《おっと島津重豪は熊本出身でした》サッカーの遠藤保仁・バレーボールの迫田さおり選手も有名でみんな美男美女です。（あれ、建築物には触れないのかい）

序文が長すぎました。24日、朝6時20分：集合時間の10分前に長野駅新幹線改札口前に到着すると参加者18名が勢ぞろいしておりました。僕が最後の19人目です。（何か変な予感⇒後で記事を書くことになった）

参加者の中にはご夫婦で参加される方や、姉妹で参加される方もいて、支部の研修旅行の方向性を予感させます。家族参加がこれからの良い流れだと思います。

あらゆる交通手段により鹿児島県指宿に到着しました。これから薩摩の厚い・熱い・暑い・燃える・萌える（悶えてはいない）研修旅行が始まります。

初日の宿は砂被りで有名な砂蒸し温泉：白水館です。白水館に入館しロビー横の休憩室で入館説明が行われているのですが、おもてなしの薩摩焼酎に舌鼓を打っている御仁がほとんどです。（筆者も例にもれませんが）

入室してから白水館横の薩摩伝承館に見学に行くグループと、早速に砂蒸し温泉を経験してみるグループに分か

れました。砂蒸し温泉は熱砂のサウナですから飲酒後に入る訳にはいかないので宴会前に入るか、明日の朝入るか二者択一です。

白水館は指宿を代表するホテルで唯一屋内に砂風呂を擁しています。このホテル以外の指宿旅行者が入浴することができる砂風呂は海岸沿いにあります。24日は小雨模様の天気でしたので参加者全員、ホテルの砂風呂を利用しました。

夕食（懇親会）は長旅の疲れを癒す豪華な鹿児島料理が並びました。その後、猛者の方々は地元の人々との交流を深めるべく館内のスナックへ

25日、僕は参加者の皆さんにお願いして、別行動となる予定でした。指宿市内にある日本百名山の開聞岳（924m）の登山予定で準備を整えてきました。朝、指宿から開門へ向かう電車に乗るため5時に起きて指宿駅に向かいました。……つづく

～ひとり、開聞岳を目指した
しょういちさんの旅はいかに～

長編読み物『全国大会「鹿児島大会」支部旅行・道中記』はまだまだ旅の序盤。続きはホームページの特設サイト（QRコード）よりご覧いただけます。

旅行に参加されたみなさんが撮影した写真も数多く掲載しています。



大会会場 宝山ホール



桜島を背景に城山公園展望台

「地震災害時における避難所等の応急危険度判定」についての説明・意見交換会+訓練を受講して

防災委員 服部 雅哉

ながの支部では7市町村と地震災害時における避難所等応急危険度判定の協力に関して協定を結びなおしており、私は信濃町との連絡員を拝命していますので、災害時に自分がどのような行動をすべきかを学びたいと思い参加させて頂きました。

「避難所」は災害に遭いながらも生活を送り、気持ちを落ち着かせる重要な場になります。協定を結んでいるエリアでは約400棟の避難所。さらに判定士が50名程度という中で避難所を開設するまでに判定士が迅速な行動と情報取得や発信をすべきかが課題になりそうです。連絡員という立場は行政寄りの立ち位置となるため、行政とのコミュニケーションの取り方も重要になります。その点、今回は行政の方の参加もありましたので、理解は進むと思われます。

受講後、自分が率直に感じたことは、災害時の短時間ではできることは限られてくると思いました。その為、事前に避難所の詳細な情報を集約してファイル等にまとめておくことや実際の避難所を対象として判定の訓練も重ねることも必要と感じました。



委員会活動報告

ながの支部ブロック合同忘年会に参加して

南部ブロック 武 雅 繁



11月30日に行われた今年のながの支部忘年会は、例年と雰囲気が違う会場で行われ、とても良かったです。あえて言えば、若い方や女性の会員さんがもう少し参加してもらえると、なお良かったように思います。今の若い人は、タイムパフォーマンスが良い所に参加するそうです。中々、タイムパフォーマンスが良いということはわかりにくいですが、支部を活性化するためにそこを解決したいですね。

締めあいさつで、江口会長が北信ブロックの合併案について話されました。これからは広域になるので心をひきしめていきたいと思っています。

支部日誌

事務局

開催日	行事名	開催日	行事名
11月4日(月)	バイク同好会 (松原湖ツーリング)	12月4日(水)	「地震災害時における避難所等の応急危険度判定」説明・意見交換会+訓練 (長野市生涯学習センター 4階大学習室1)
11月7日(木)	三役会 (web会議 (zoom))		
11月15日(金)	櫻ヶ岡中学校「防災の家」出前授業 (櫻ヶ岡中学校)	12月5日(木)	三役会 (web会議 (zoom))
11月22日(金)		12月11日(水)	幹事会 (web会議 (zoom))
11月25日(月)		12月18日(水)	編集部会 (テレワーク活用)
11月26日(火)		12月20日(金)	編集部会 (長野県建築士会会館 2階会議室&zoom)
11月30日(土)	ブロック合同忘年会 (コレカラ)	12月20日(金)	青年・女性建築士委員会 (食堂citta)

編集後記

皆様良い年をお迎え出来ましたでしょうか。

今年は巳年ですね。過去の巳年は大化の改新が始まったり、壇ノ浦の戦いで平家が敗れて源氏が台頭したり、近い所では安倍政権がアベノミクスを打ち出して日本経済に活力を吹き込もうとした年みたいですね。復活と再生の象徴というヘビのイメージから、新しい事が始まる年と言われています。

私も何か新しい事を始めてみたいと今は思っていますが、出来るかな…

～ 芝刈り好きなおじさん～